

晴れの国じゃけえ熱中症に注意せんとおえりゃあせんで岡山！プロジェクト 2022

## 今年も熱～い夏… 防ごう熱中症



岡山市では6月中旬から30度を超える真夏日が続き、過去最速の梅雨明けとなりました。岡山労働基準監督署には毎日のように熱中症発生の通報や熱中症で病院の治療を受けた労災保険の請求書が届いています。中には意識不明状態が続く等、非常に重症化しているケースもあり、改めて熱中症の恐ろしさを痛感しているところです。

熱中症対策を考える上で「暑熱順化」があります。暑熱順化とは、暑さに身体が慣れ、暑さに強くなることです。それとは逆に暑さに慣れていない状態である時は熱中症を発症しやすくなります。これからお盆の時期となり夏休みをとられる方が多くなります。長期の休み中にエアコンの効いた快適な温度での生活に慣れてしまうと、休暇明けの際に身体が暑さに負けて熱中症を発症してしまうリスクが非常に高まります。長期の休暇明けは暑さに身体が慣れるまで無理はせず、休憩をしっかりと、普段以上に熱中症に注意してください。



熱中症対策の啓発チラシを作成しました。表面は岡山市消防局、裏面が岡山労働基準監督署の作成となっています。



### 岡山市消防局と初のタッグを組んで 熱中症啓発プロジェクト推進中！

令和4年夏、岡山労働局・岡山労働基準監督署は岡山市消防局と初となる協働企画「晴れの国じゃけえ熱中症に注意せんとおえりゃあせんで岡山！プロジェクト 2022」を推進しています。

7月8日にはJR岡山駅前広場において、岡山市消防局予防課長・岡山労働局長・岡山労働基準監督署長等が、通勤・通学中のみなさんに向け上記のチラシや熱中症対策タブレット等を配り、熱中症に注意するよう声掛けを行いました。



通勤や通学中忙しい中、みなさん足を止めていただきました。ありがとうございました。



岡山市消防局のカラーガード隊「ビーチフェアリーズ」による華やかな演奏でイベントのオープニングが盛り上がりました。また、チラシ配布にも参加していただきました。



岡山労働局 🔍 検索

チラシは岡山労働局 HP からダウンロードが可能です。

8月は夏休みをとられる方が多いと思いますが、今年はそれに年次有給休暇を加えて、いつもより少し長いバカンスを楽しんでみてはいかがでしょうか。



計画的な業務運営や休暇の分散化にも資する年次有給休暇の計画的付与制度や、労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に資する時間単位の年次有給休暇制度の導入を是非ご検討ください。



ゆったり休暇で、夏を満喫。心身ともに充実を。

新しい働き方・休み方を 実践するために 年次有給休暇を上手に活用しましょう



- 「年次有給休暇の計画的付与制度」を導入しましょう。
- 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を活用すれば休暇の分散化にもつながります。

厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署

労働条件・賃金・労働時間等のお問い合わせは  
労働者の安全と健康確保のお問い合わせは  
労災保険・労働保険等のお問い合わせは  
解雇・賃金の引き下げ・いじめ・いやがらせ等の相談は

第1～4方面 (086-225-0591)  
安全衛生課 (086-225-0592)  
労災課 (086-225-0593)  
総合労働相談コーナー (086-283-4540)

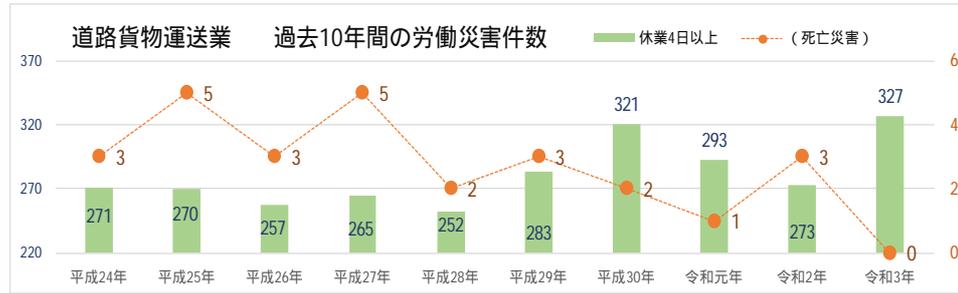


厚生労働省 岡山労働局  
岡山労働基準監督署

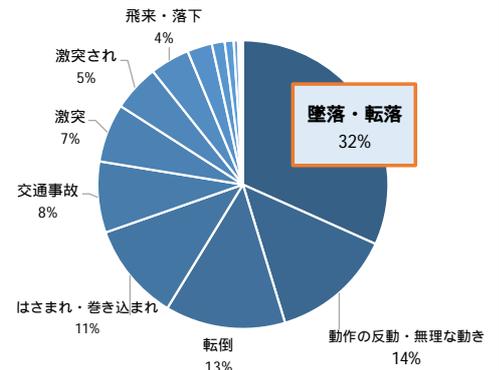
# 岡山県トラックターミナルで安全パトロールを行いました

岡山県内における道路貨物運送業の労働災害は近年増加傾向にあり、令和3年は休業4日以上、過去10年間で最多の件数となりました。

災害の事故の型別で見ると、トラックの荷台等からの墜落災害が3割以上を占めており、その他、荷を持った際のギックリ腰や通路等における転倒災害が目立っています。交通事故による労働災害は1割未満であり、道路貨物運送業の労働災害は陸上における荷役作業中が大半を占めていることとなります。



道路貨物運送業 過去10年間の事故の型別



こうしたことから、岡山労働基準監督署長をはじめ安全衛生担当職員及び岡山労働局の幹部が、中四国で最大規模である「岡山県トラックターミナル」においてパトロールを実施し、フォークリフトの運行経路の確認や、荷の適切な持ち方や運び方について労働者から聞き取りを行い、労働災害防止対策の呼びかけを行いました。

## 労働災害発生状況

「休業」は休業4日以上の災害  
2022年発生件数と前年同時期比較(死亡7/20速報値、休業6/30速報値)

業種	2022年		2021年		増減	
	死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業
製造業	1	81	1	79	0	2
金属製品	0	9	1	14	1	5
機械器具	0	18	0	14	0	4
化学工業	0	9	0	6	0	3
食料品	1	20	0	22	1	2
その他	0	25	0	23	0	2
建設業	0	45	1	59	1	14
運輸交通業	0	66	0	65	0	1
旅客	0	8	0	7	0	1
道路貨物	0	58	0	58	0	0
第三次産業	1	476	0	211	1	265
商業	0	69	0	48	0	21
保健衛生	0	340	0	85	0	255
接客娯楽	0	20	0	24	0	4
その他	1	47	0	54	1	7
その他の業種	0	7	0	3	0	4
全産業	2	675	2	417	0	258

2022年(全産業)675件の内コロナ感染によるものは342件、2021年(全産業)は417件の内60件

## 『労働保険相談チャット』を公開しました

労働保険制度に関するお問い合わせに、チャットロボットが自動で対応する対話形式のサービスを開始いたしました。

厚生労働省ホームページから『労働保険相談チャット』にアクセスすることで、労働保険制度の知りたい情報を24時間365日素早く、簡単に取得することが可能です。

「労働保険相談チャット」ご利用案内  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/hoken/rouduuhoken21/hoken\\_chatbot.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/hoken/rouduuhoken21/hoken_chatbot.html)



案内に沿ったカテゴリ選択、又はフリー質問入力が可能ですので便利です！

## 熱中症、フラツとしたら、即対応！



今年の梅雨明けの早さには驚きました。しかし、その後はどんよりとした曇りや雨空が続いており、なんだかスッキリしない夏の始まりとなりました。

さて、みなさまの事業場においては様々なアプローチで熱中症の対策に取り組んでいらっしゃるかと思いますが、イザ！という時の対応については考えられているでしょうか。熱中症は救助・救命方法の判断を誤ると命に関わります。熱中症で倒れた労働者を救護室で寝させていたら、その後亡くなられていたというケースも実際にあります。

熱中症にり患した又は熱中症のような症状が見られるような場合、どのように対応したらよいのか、マニュアルを作成し、周知することが大切です。また、状態によっては躊躇なく救急車を要請することも大切です。

岡山労働基準監督署 安全衛生課長 高橋 慎太郎